

2020 年秋の例会

弦楽四重奏のための **断章と**
ト長調・弦楽四重奏曲を聴く



"Strings"
Kei Yasaka

曲 目

弦楽四重奏曲「断章」ハ短調 D703

弦楽四重奏曲 ト長調 D887

ほか

演 奏

V : 高橋 宗芳 V : 中澤 沙央里
Va : 友田 俊 Vc: 西条 貴登

2020年9月26日（土） p m2:00 開演（1:30 開場）

会場：サローネ・フォンタナ 参加費 3000 円

主催：国際フランツ・シューベルト協会

「断章」と弦楽四重奏曲ト長調を聴く

『ロザムンデ』『死と乙女』に続く、三つの有名な弦楽四重奏曲の愁眉を飾る、最も凝縮され、最も高度に有機的なト長調四重奏曲。二年間心に温め、漸く 1826 年 6 月の最後の 10 日間で清書コピーを書き上げていたシューベルト。これに取り組み始める刺激となったのは、もしかすると 3 月 21 日のベートーヴェンのコンサートだったのかもしれない。シューベルトがそこに行ったことは分かっているし、そこでは終曲に『大フーガ』のある変ロ長調・四重奏曲 (Op. 130) が初演されたのだ。彼の想像力に働きかけ、浸透していったのは、ベートーヴェンの例だった——これは友人ゾーンライトナーの言葉だ。」とシューベルト研究家のジョン・リードは書いている。

そして、今回は、未完の四重奏曲の第一楽章として残され、それでいて、何とも魅力的なために「断章」という愛称で呼ばれている作品を、合わせてお聞きください。

予約ご希望の方は、下記宛にお申し込みください。

〒165-0033 中野区若宮3-28-2

国際フランス・シューベルト協会 (担当・杉山)

TEL 03-3330-8378

なお、協会のホームページ (<http://schubertiade.jp>) から申し込みすることができます。
(E-mail アドレスは、member@schubertiade.jp です。)

サローネ・フォンタナ ご案内

小田急線「成城学園前」駅北口に出て、正面の大通り(桜並木)を直進、桜並木がちょっと途絶えたあたりで赤い郵便ポストが道路右に見えて来る (ここまで約 10 分)。ポストの手前の四つ角を右折・直進。橋を渡って、上り坂を上り切ると突き当りは駐車場。そこを道なり左折してすぐ、左側二軒目の家。 (全体で徒歩 15 分)

